

HTEC TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 滝澤 信彦

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
ケータイで
簡単アクセス!



ホンダ学園祭2012

『狭山の整備士は優しいお兄ちゃん・お姉ちゃん』開催!

10月27日(土)、ホンダ学園祭を開催しました。ホンダ学園祭は、今年で11年目を迎え、大人から子どもまで誰もが楽しめる学園祭として、毎年数多くの大阪狭山市のみなさん、保護者のみなさんに参加していただいています。

学園祭当日は、自動車専門学校の特徴を活かした整備の技術と正確さ・スピードを競う「技術コンクール」を中心に、白熱したバトルシーンが繰り広げられた「オリジナルヒーローショー」や、今年から実施されたラジオ放送ではDJのアナウンスと共に色々な音楽が流れ、楽しい学園祭となりました。

人気を博したのは、二輪整備同好会による「8耐ピットデモ」で、タイヤ交換や燃料補給なども見られ、ド迫力のエンジン音が響き渡り、観客も大いに盛り上がりました。

今年も、飲食系模擬店が全店100円で、焼き鳥、フランクフルト、たこ焼き、焼きそば、フライドポテトなど早い時間から売り切れ続出で大人気でした。参加型模擬店としては射的やダーツ、キックターゲット・グランツリスモカフェなどが開催され、子ども達にも大好評でした。

模擬店の売上の一部は大阪狭山市の地域福祉に役立てていただけたよう寄付を行ないます。

楽しいイベントや模擬店でご来校くださった皆さんに楽しんでいただきました。ご来校ありがとうございました!



二輪整備同好会による8耐ピットデモの様子



模擬店は全店100円で大盛況



白熱したバトルが展開した「オリジナルヒーローショー」



車やバイクの整備技術を競う「技術コンクール」



参加型模擬店のダーツでは的に当てるのに夢中



今年から実施のラジオ放送で学園祭も大盛り上がり



工具の展示販売など、学生に大人気で興味深く見ていました。



バイク自慢コンテストでは色々なバイクが勢ぞろい。

Honda原点ライブラリー講話



BL 松澤様・山崎様による講話

10月2日(火)全科1年生を対象に、本田技研工業(株) 総務部 原点ライブラリーBL 松澤様・山崎様をお招きし、Honda原点ライブラリー講話を行いました。

「お客様に喜んでもらうために夢にむかって最善の努力をする」

Hondaの原点である創業者の本田宗一郎、藤沢武夫が残した数々の言葉は、Hondaの原点として今もなお人々に語り継がれています。

今回の講話は、将来Hondaグループで活躍する為に「HondaのDNA」を理解し、実践する事の重要性が良く伝わった講話で夢にチャレンジするきっかけになる貴重な1日でした。

実践的なタイヤ講習を開催

9月27日(木)二級自動車整備研究科3年生を対象に、タイヤ講習を行いました。

講師には日本グッドイヤー株式会社 セールズトレーニング部 佐竹様をお招きしました。

この講習では自動車パーツの中で唯一路面と接しているタイヤの基礎知識(機能、役割、種類、構造)と点検・修理の確認作業を習得しました。

将来、二級自動車整備士としてお客様に対して単なる修理だけでなく、カーライフ全般をアドバイスできるように知識を身に付けることを目的としています。



Facebookページ開設しました。いいね!をください。
学園での日常生活や、学生の様子など様々な記事を掲載していきます。皆さん是非見て下さいね。

Google 検索 Honda学園 Facebook

YAHOO! 検索 Honda学園 Facebook

Yahoo!もしくはgoogleで検索してください。キーワードは、「Honda学園」と「Facebook」。*単語間は英数半角のスペースを入力してください。

第10回 全日本学生フォーミュラ大会

自動車研究開発科2年生は静岡県エコーで開催された「第10回全日本学生フォーミュラ大会」に参加しました。

前年のマシンの改良で出場してくる大学とは違って、本校は各学年で毎年ニューマシンを製作し大会に出場する為、静岡移動の前日ギリギリまでセッティングをして大会に臨みました。

大会の前半は静的審査。車両の安全性を審査する車検、コストやデザインを競う「エンデュランス」に臨

自動車の審査から販売計画を説明しました。しかし、第1ドラ明するプレゼンテーションマイバーの9周目付近で、スでは順調に得点を重ね、動テアリング部分に異常が発的審査に入りました。8の生。ドライバーの安全を重字コースを周回して安定性要視し、無念のリタイアとを競う「スキッドパット」、停止からの発進加速を競う「アクセラレーション」、テクニカルなコースで車両の総合性能を競う「オートクロ」生は大きく成長しました。ス」若干のトラブルはあったものの全競技で得点をして、来年6月のアメリカ大会に向けて更に活動を続けて行きます。



フォーミュラ大会参加メンバー



傾き審査も一発合格



コスト審査の様子



動的審査で快調に走行